



スマイル老司



ネットワークの名前の由来

「スマイル老司」は、老司校区にお住まいの方々が地域での生活や活動を行ってゆく中で、困った事、相談したい事、お手伝いして欲しい事に寄り添い、**一人でも多くの方が笑顔になっていただきたい**、という願いと携わる**我々も笑顔を絶やさずに活動できるように**との思いでこの名称にしました。

ネットワーク立ち上げの経緯

老司校区住民の方々からの福祉・介護に関することは勿論、公民館や集会場で行われる活動などの相談や要望は、南第6いきいきセンターふくおかもしくは、南区社協事務所 が対応していくシステムでした。

しかし、いずれも全てへの対応は困難で、何とか地域の方々に貢献したい気持ちで対応していました。かたや、老司校区に複数ある介護事業所も地域密着、地域貢献を掲げるものの、地域の方々とのコミュニケーション不足が否めないのが現状でした。そのような中、平成28年8月、それぞれの想いを持ち寄って「スマイル老司」が第一歩を踏み出しました。その第一歩の背景には、我々の想いだけでなく、南区の高齢化、特に老司校区の高齢化は著しく、様々な垣根を超えた横の繋がりで受け止めていく必要がありました。

このような老司校区の現状を踏まえ、我々が持っているそれぞれの能力や役割を一つでも多くのお悩みや相談・要望に活かし、もっと住みよい笑顔あふれる老司校区となるように、**高齢者だけでなく全世代と繋がる**ネットワークの構築をと願い発足致しました。

活動内容

●老司校区自主活動クラブへの参加

地域住民主体のクラブ活動へのお手伝いや講演(介護保険や認知症について等)の依頼を受け、それぞれの内容に応じたジャンルの事業所が主に対応やフォローをしています。

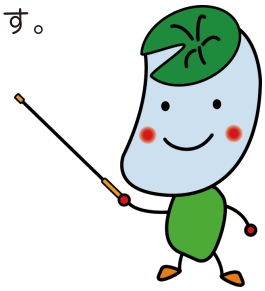
●定期的な老司校区で開催されるふれあいサロンやカフェ、健康促進講座への参加

●鶴田・老司校区事業所MAP作成

南第6いきいきセンターふくおか内に掲示し、ご相談者の近隣の介護事業所をご紹介します。また、MAPとリンクした事業所紹介や活動内容を記した冊子も作成しています。

●老司校区自主活動クラブへの参加

- ・「最期まで口から食べる地域づくりを目指して」(平成30年1月19日開催)
- ・「地域包括ケアの実践促進講座」(平成30年5月18日開催)
- ・「福岡市地域包括ケア情報プラットフォームについて」
～ICTを活用した健康先進都市の実現～(平成30年11月16日開催)



Community Voice

地域からのメッセージ

老司校区社会福祉協議会の会長を務めております吉田で御座います。

スマイル老司とは、校区内の事業所同士の連携とまちづくり老司協議会との接点を持つことでスタートしたもので、今後も地域の高齢者福祉に対し「住みやすいまちづくり」を作り上げる中で、協力は欠かせないものとなります。

今後も宜しくお願い致します。

老司校区社会福祉協議会
会長 吉田 康雄



福岡市による地域包括ケアシステムの研修



老司校区ふれあいサロンボランティア研修